

全国自立援助ホーム協議会 第24回仙台大会

=これからの自立援助ホームの在り方を語る。=日々の暮らしの中にある若者の未来=

《趣旨》 自立援助ホームは、児童養護施設等の社会的養護領域の中で、社会的自立に向けて自分の生き立ちと向き合いながら「生きる」ことに困難を抱えている若者に寄り添い、共に暮らしていこうとする生活の中から始まった。当初、行政施策の裏付けとなる法制度もない厳しい運営であった。しかし、私たちはこの24回の協議会の取り組みを通して、さまざまな制度を国や自治体の理解と協力のもとで整備してきた。このことは、自立に困難を抱えた若者たちとの暮らしの中で、若者たちとその支援者にとって大切なこと、必要なことを一つひとつ整理し訴え続けてきた結果である。

今年度、国から新たな制度(社会的養護自立支援事業と就学者自立生活援助事業)が示された。これは、社会的養護領域のみならず貧困・雇用などの様々な社会的課題解決のひとつであり、私たちは、これらの施策を自立に困難を抱える若者の未来創造につなげていかなければならない。国は、全国に190カ所の自立援助ホームが必要であると考え、その推進に力を注いでいる。これからもたくさんのホームが立ち上がり、協議会会員が増えるだろう。新たな制度をしっかりと理解し、更に必要なことを訴え続けていくことを決して忘れてはならない。また、私たちは、社会的養護の一翼を担っているという責任を自覚し、法令等を遵守し常に自己研鑽に努めなければならない。

本大会では、社会的養護領域の中の自立援助ホームの在り方を新たな制度の理解とともに、若者の視点に立ち日々の暮らしの中でどのように活かしていくかを語り合いたい。

《主催》 全国自立援助ホーム協議会

《後援》 厚生労働省・宮城県・仙台市

社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国児童養護施設協議会

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会・宮城県児童福祉施設協議会

全国児童自立支援施設協議会・全国児童心理治療施設協議会・全国里親会・日本ファミリーホーム協議会

認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク

(後援団体は全て予定です)

《期日》 2017年10月19日(木)～20日(金)

《場所》 仙台サンプラザ

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-11-1

TEL 022-257-3333

《大会スケジュール》

		12:00	13:00	13:10	13:50	15:20	15:35	17:30	18:00	19:00	21:00
10月19日(木)		受付	開会式	(クリスタルルーム) 行政説明	(クリスタルルーム) 基調講演	休憩・移動		分科会	事務連絡	移動・チェックイン	(クリスタルルーム) 交流会
		9:00	9:30	11:15	11:30	12:00					
10月20日(金)		受付	(クリスタルルーム) シンポジウム	休憩	閉会式						

【第1日】10月19日(木)12:00～受付 仙台サンプラザ

《開会式》 13:00～13:10 ○主催者挨拶 ○実行委員長挨拶 ○来賓挨拶

《行政説明》 13:10～13:50

○厚生労働省子ども家庭局 家庭福祉課長 成松英範氏

《基調講演》 13:50～15:20

『私の歩んできた道から自立支援を考える。』

○講師 草間吉夫氏(東北福祉大学 特任教授)

○概要 社会的養護制度が不十分な時代に、自分の生き立ちと将来に向き合いながら、自らの道を切り開いてこられた。その生き方の中での苦労や喜びの中で感じてこられた支援者との想いや、これからの支援者に求める想いを語って頂く。

《分科会》 15:35～17:30

分科会A 新たな制度「就学者・就労者自立支援事業」の理解とホーム運営に関するQ&A

○講師 成松英範氏(厚生労働省子ども家庭局 家庭福祉課長)

平井誠敏(全国自立援助ホーム協議会 会長・慈泉寮 寮長)

○司会 久野亨(まつぼっくり ホーム長)

○概要 法改正とともに社会的養護領域の中にいる若者の自立支援事業が整備された。この制度を自立援助ホームに係る項目について共通理解を図るとともにその対応や課題などについて、意見交換をおこなう。参加者の皆様に事前に質問を頂き、Q&Aの形で本分科会を進めたい。

分科会B 今再び自立援助ホームの現状に迫る =施策につなぐ現状の整理をしてみよう=

○講師 前川礼彦(全国自立援助ホーム協議会制度政策委員会 委員長・湘南つばさの家 ホーム長)

○司会 川口充紀(全国自立援助ホーム協議会調査研究委員会 副委員長・わだちの家 ホーム長)

○概要 各ホームとも、日々の支援のなかで様々な課題を抱えている。しかし、その課題を整理する余裕も無く、次々に生じる課題に翻弄されがちである。そこで、課題をみんなで整理しあい、課題の根っこを探っていきたい。ひいては、ホームの在り方検討につなげていきたい。

分科会C 関係機関から見た自立援助ホームの役割や期待について

○講師 ト蔵康行氏(日本ファミリーホーム協議会 会長)

小林純子氏(特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ 代表理事)

○司会 中山崇志(峠のまきば ホーム長)

○情報提供 開催県

○概要 各関係機関から見て、自立援助ホームの役割や期待すること、課題を提示して頂き、私たちの支援の在り方を検証していきたい。

分科会D 現場のスタッフが子どもたちと向き合う姿勢とは

○講師 草間吉夫氏(東北福祉大学 特任教授)

○司会 千葉宇史(せんだんの家 児童指導員)

○概要 子どもたちとの向き合い方についてマニュアルはない。なぜなら、子どもたちの中で同一個性を持っている人はいないため、子どもの数だけ対応方法が存在することになり、日常生活の中で常に対応策を検討していく姿勢が求められる。みんなで課題を共有し今後の支援を考えていきたい。

分科会E 就労前支援 =生き立ちの整理と障害特性の自己理解を促す支援とは～

○講師 安部計彦氏(西南学院大学 教授)

○司会 串間範一(全国自立援助ホーム協議会研修委員会 委員長・ウイング・オブ・ハート ホーム長)

○情報提供 柴田 亮(結ホーム ホーム長)

○概要 就労自立が困難な若者の入居に際し、本人が抱える課題として「生き立ち」の理解や自分の能力特性を適切に理解しきれていない事が感じられる。「強いられた自立」を避けるためには、本人が適切に自分を理解することが必要である。では、どのようにアプローチしたらいいのか。事例をとおして検証する。

《交流会》 19:00～21:00 仙台サンプラザ 会場 クリスタル・ルーム

【第2日】10月20日(金)9:00～受付 仙台サンプラザ

《シンポジウム》 9:30～11:15

「ホームの暮らしの中で将来を紡いでいくこととは」

- シンポジスト 高橋一正氏(ふくろうの家 社会生活支援員)
山澤由美子氏(ピアホーム ホーム長)
小久保志津子氏(カリヨンタヤけ荘 ホーム長)

○コーディネーター 草間吉夫氏(東北福祉大学 特任教授)

- 概要 三名のシンポジストが「日々の暮らしの中で若者の未来創造にどう向き合っていくか」についてトークを展開する。自信をなくしたり将来を悲観しがちな若者に対して、本人が自信をもって将来に向かっていくために大切なこととは何かを見つめていきたい。
※シンポジウムよりもラフで井戸端話的な雰囲気とし、フロアから聞きたいことも途中で受け付け、シンポジストの皆さんに語ってもらう。

《閉会式》 11:30～12:00

- 主催者挨拶 ○実行委員長挨拶 ○次期開催地挨拶

◆参加費

参加費	夕食交流会費	※参加費には資料代(1,000円)が含まれています。 ※宿泊先は各自で手配をお願いします。
8,000円	7,000円	

※大会1日目又は2日目のみの参加の場合、4,500円を参加費としていただきます。

◆申込方法

- ①参加申込書(別紙1)に必要な事項ならびにご希望の分科会を記入してください。
- ②別紙1申込用紙に書いてある口座に申込金額のお振り込みをお願いいたします。
※領収書につきましてはお手元に残ります振込明細で代えさせていただきますが、必要な場合は当日受付横で発行いたしますので、受付の際その旨お知らせください
- ③振込明細を所定の用紙(別紙2)に貼り付け、別紙1と一緒に郵送もしくはFAXにてお申し込みください。
(郵送・FAX以外での申し込みは受け付けませんのでご注意ください。)
※各分科会には定員がありますので、超過した場合はこちらで調整させていただきます。
※別紙1・2がどちらも届いたところで受付完了といたします。
※8月31日締め切りとさせていただきます(消印有効)。
(先着順ですので、締切前でも定員に達した時点で締め切らせていただきます。)
- ④受付が完了いたしましたら参加証を送付いたしますので、当日ご持参ください。
※大会一週間前(10/13)までに参加証が届いていない場合は下記連絡先までご連絡ください。
※大会一週間前(10/13)以降のキャンセルにつきましては返金いたしませんのでご容赦ください。
それ以前につきましては、手数料・送料等を引いた金額を振り込み又は現金書留で送らせていただきます。

◆お申し込み及びお問い合わせ先

全国自立援助ホーム協議会事務局(担当:恒松大輔)
〒204-0022 東京都清瀬市松山3-12-14 自立援助ホームあすなろ荘内
TEL(042)492-4632 FAX(042)492-8348 E-mail:zenjienkyou@gmail.com

アクセスマップ



電車

- JR 仙石線仙台駅～(約 3 分)～榴ヶ岡駅下車出入口 2 すぐ <雨に濡れずご来館いただけます>
(JR 仙台駅仙石線のりば 9・10 番線、松島海岸・石巻方面行[各駅停車])
- 仙台市営地下鉄東西線 宮城野通駅下車徒歩 12 分
- 仙台市営地下鉄東西線 連坊駅下車徒歩 12 分

市営バス

- 仙台駅～(約 10 分)～新寺四丁目サンプラザ入口下車徒歩 5 分
(JR 仙台駅西口バスプール 4 番のりば、鶴巻小学校行き他)

お車

- 仙台宮城 I・C より約 30 分
- 仙台空港より約 40 分
<駐車場 120 台完備> 宿泊の方は駐車場が無料になります。

徒歩

- JR 仙台駅東口より約 13 分
- 地下鉄仙台駅より約 23 分

(別紙1)

全国自立援助ホーム協議会 第24回仙台大会 参加申込書

○参加ホーム、施設等について

施設名:		代表者名:		
(種別:)				
住所	〒 -			
Tel	()	Fax	()	E-mail

○参加者氏名(すべての項目に必ずご記入ください)

No.	ふりがな 氏名	経験 年数 ※1	参加するものに○を つけてください		合計金額	分科会希望※2 (丸数字は希望順位)				
			大会	交流会		①	②	③	④	⑤
1	(男・女) 役職	年	両日参加		円					
			19日のみ							
			20日のみ							
2	(男・女) 役職	年	両日参加		円					
			19日のみ							
			20日のみ							
3	(男・女) 役職	年	両日参加		円					
			19日のみ							
			20日のみ							
4	(男・女) 役職	年	両日参加		円					
			19日のみ							
			20日のみ							
5	(男・女) 役職	年	両日参加		円					
			19日のみ							
			20日のみ							
振込金額合計					円					

※1 経験年数は自立援助ホームの経験年数のみご記入願います

1. 年数のみで結構です。例:0年6か月→0年

2. 経験のない方は斜線をお願いいたします。

※2 分科会は希望順にアルファベットをご記入ください(人数に限りがありますので、調整する場合があります)。

○参加申込について 8月31日締め切り(消印有効)

○振込先(ゆうちょ銀行)

口座名 全国自立援助ホーム連絡協議会

口座番号 記号 12150 番号 81346151(ゆうちょ銀行の場合)

店名 二一八支店 普通 8134615(他金融機関からの場合)

○振込用紙は必ず別紙2に貼り付けて、本申込書と一緒にFAXもしくは郵送してください(コピー可)。

別紙1、別紙2が届いた時点で受付完了となります。

(別紙2)

振込用紙貼付票

送付日: 2017年 月 日

送付先: 全国自立援助ホーム協議会

事務局 あすなろ荘

恒松 大輔 行

代表者名:

振込日: 年 月 日

連絡先 TEL:

この枠に振込控えを貼り付けてください
(はみ出しても問題ありません)

FAX送付先	(042)492-8348
郵送先	〒204-0022 東京都清瀬市松山 3-12-14 自立援助ホームあすなろ荘 恒松宛

※必ず別紙1と別紙2を送信もしくは同封してください。